

写真1 講座風景

三 産学連携

産学連携では、高専の知財、ノウハウや設備を利用して地域の企業を中心に、高専シーズの地域還元を行っている。形態としては、「共同研究」、「受託研究」、「奨学寄付」があり、外部資金導入の重要な役割も担っている。このため、共同研究に関しては、学内予算を傾斜配分し、そのインセンティブを高めている。また、これらの導入のために重要な、技術相談も多数行われている。図2は外部資金の導入額を示す。

四 徳山高専テクノアカデミア

徳山高専テクノアカデミアは、平成九年に設立し、地元企業二四社を中心に、

事例紹介

スモールコラボレーション

徳山高専の地域連携活動の状況

原 隆
(徳山工業高等専門学校テクノ・リフレッシュ教育センター長)

一 まえがき

「教育」、「研究」と並んで、「地域連携」が高専にとって重要な業務である。徳山高専では、「教育」「研究」において学生を育てるとともに、「地域連携」を実践的に学生を育てる場と位置付けてその活動を行っている。徳山高専においては、テクノ・リフレッシュ教育センターが中心に、「産学連携」、「地域連携」、「徳山高専テクノアカデミア」を地域とかかわりを持つ活動の三本柱として取組を行っている。また、サテライト委員会が運営する、「高専夢広場」(サテライトオフィス)を用いた地域連携活動を図っている。

二 地域連携

高専の持つ知、技術、文化を地域に還元する活動として、公開講座、生涯教育講座、連携講座が開催されている。生涯教育講座としては、市民向けのサテライトカレッジ、オープンカレッジなど、周南市と連携した教養講座がある。また、ここ数年、科学をテーマにした中学校や小学校との連携講座(SPP事業)が開催されるようになってきた。この他、ジュニア科学教室、夏休み工作教室の各種講座も開催されている。図1に示すようにのべ五〇〇名程度の参加を得ている。



写真3 建築演習発表

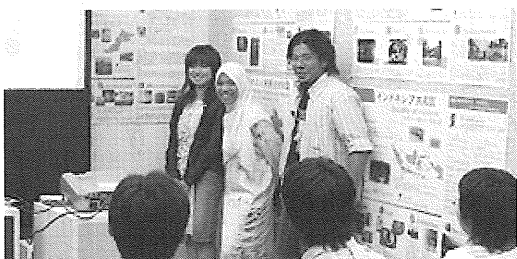


写真4 留学生ふるさと展

本校の教育、研究、文化活動に関する情報を発信し、地域社会に貢献することを目的とした「徳山高専夢広場」をTMO徳山複合コミュニティ施設「ふれあいパーク街あい」発足とともに平成一四年オープンした。夢広場では、

五 高専夢広場
理想的な連携形態として継続発展できるよう努力している。

五 高専夢広場

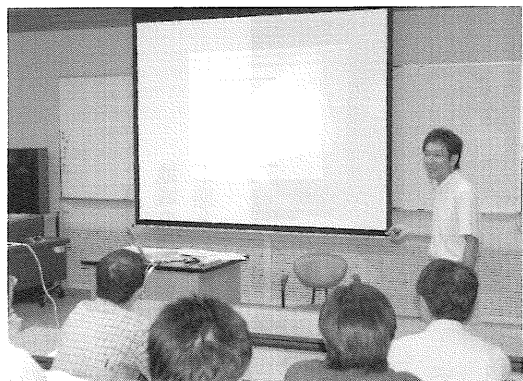
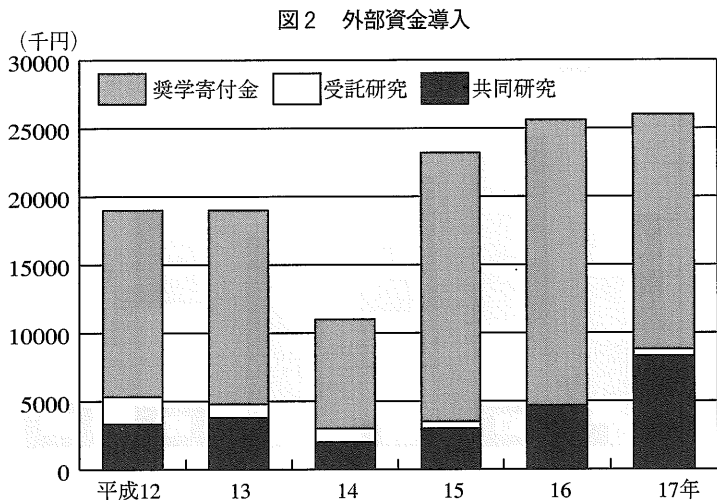


写真2 テクノアカデミア研修会

企業と高専の連携活動を行っている。テクノアカデミアでは、主に若手の企業に籍者に対する人材養成講座、中堅技術者を対象にした技術研修会を中心に人材養成のお手伝いをさせていただいている。また、テクノアカデミア創立五周年を機会に、参加企業と徳山高専を核として地元企業の参加をいただき、四テーマの研究会を充足している。テクノアカデミアでは、これらの連携を基礎に、企業訪問を実施し、技術相談をしやすい場を提供している。また、通常の共同研究に踏み込む手前の、研究ニーズに対して「アカデミア共同研究」の制度を設けて研究資金を提供している。

さらに、会員企業への専攻科生による三か月の長期インターンシップの派遣受け入れ、専攻科学生の学会活動旅費、各種大会コンテストへの派遣の旅費の支援、学生の海外研修への補助など、多くの教育活動へ多大なご支援をいただいている。

徳山高専テクノアカデミアは、地域企業と徳山高専の理

徳山高専の学生や教職員による各種イベントや講座および展示等を行い、徳山高専のPRを行っている。
現在、常設の二企画のほかに、留学生の出身国紹介や、建築演習の成果発表の公開授業が行われている。常設の企画としては、気楽に英語に親しみながら、英語力、英語コミュニケーション能力を高め、可能な限り異文化理解を深めるための「いんぐりっしゅ☆む」があり、市民に定着化し、毎週多くの市民が参加している。
また、高専の得意分野を生かした「パソコンの操作のかわいところに手が届く」ような相談を目的とした「パソコン若葉相談室」が定期開催され、常連の市民が参加している。

六 まとめ

高専の持つ「知」をもって地域社会に貢献するとともに、その連携の中で研究活動を行い、地域連携活動の中で学生を育てることで、実践力のある開発型技術者としての人材を養成することができる。

徳山高専では、スモールコラボレーションからアライアンスへと発展できるように、今後も地域連携活動を推進し、C O O P の導入を視野に、より実践的な技術者の創出を目指している。